

CentreCOM® 8624XL リリースノート

この度は、CentreCOM 8624XL をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のユーザーマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 2.2.2 pl18(2.2.2-18)

2 未サポート機能

以下の項目は付属のユーザーマニュアル、または最新のコマンドリファレンスに記載がありますが、本製品ではサポート対象外となっていますので、あらかじめご了承ください。

- BOOTP サーバー

3 本バージョンでサポートされた機能

ソフトウェアバージョン2.2.2 pl11 から2.2.2 pl18へのバージョンアップにおいて、以下の項目がサポートされました。

- フローコントロール(IEEE802.3x PAUSE)
- IP ヘルパー(UDP ブロードキャストヘルパー)
- NTP
- プロキシ ARP
- ポリシーフィルター
- ディレクティッドブロードキャスト
- ポートのリンクアップ/ダウン トリガー
- TRACE コマンド
- FINGER コマンド

4 本バージョンで追加された機能

ソフトウェアバージョン2.2.2 pl11 から2.2.2 pl18へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加(改善)されました。

- 4.1 ポートランキングのルーティングされたパケットに対する負荷分散
「7.4 ポートランキングについて」を参照してください。
- 4.2 ADD(SET) SWITCH L3FILTER MATCH/ENTRY コマンド TYPEパラメーターの追加
最新のコマンドリファレンスを参照してください。
- 4.3 ADD(SET) SWITCH L3FILTER MATCH コマンド SCLASS/DCLASSパラメーターの変更
`SCLASS={A|B|C|HOST|1..32}`
`DCLASS={A|B|C|HOST|1..32}`
SCLASS/DCLASS パラメーターにマスク長(1～32)を指定できるようになりました。

4.4 L3 テーブルのエージング機能追加

SET SWITCH L3AGEINGTIMER=30..43200

L3テーブルにエージング機能が追加され、エージングタイムの設定が行えるようになりました。デフォルトは900(秒)です。

4.5 ファイアウォール(AT-FL-02)セッションテーブル管理方法の変更

PUBLICまたはPRIVATEインターフェースで TCP セッションがクローズされたとき、最大300秒(TCPTimeout に設定されている時間が300秒以上の場合)まで、該当のTCPセッションをファイアウォールセッションテーブルに保持していましたが、TCP/FINパケットを受け取った場合は約6秒後(固定値)にTCPセッションを削除するように変更しました。

4.6 ハードウェア IP フィルターの IGMP パケット対応

ハードウェア IP フィルターが IGMP パケットに対しても適用されるようになりました。

5 本バージョンで修正された項目


ソフトウェアバージョン2.2.2 pl11から2.2.2 pl18へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 5.1 VLAN インターフェースに IP アドレスを設定した場合、各 VLAN の IP アドレス差が大きいと、VLAN 間ルーティングのパフォーマンスが低下していましたが、これを修正しました。
- 5.2 VLAN インターフェースに設定した IP アドレスと、同じアドレスを送信元 IP アドレスとするパケットを受信した後、SHOW IP FLOW コマンドを実行すると、本体がリポートしていましたが、これを修正しました。
- 5.3 ファイルシステムにおいて、ファイルの上書きを行った場合、既存のファイルが削除される、または新規ファイルの作成を行った場合、書き込み領域が足りずに新規ファイルと既存ファイルの両方が消去されることがありましたが、これを修正しました。
- 5.4 ファイルシステムにおいて、フラッシュメモリーへの書き込みを行う際にメモリーブロックの境界上で書き込みアドレスが終了した場合、不正な書き込みや読み込みが発生することによって、ファイルが消失することがありましたが、これを修正しました。
- 5.5 ファイルシステムにおいて、コンパクション中にエラーメッセージが表示され、ファイルが消失することがありましたが、これを修正しました。
- 5.6 ファイルシステムにおいて、書き込みエラーが起こった場合に、ディレクトリー構造とフラッシュのミスマッチが発生することにより、SHOW FILE コマンドでは表示されないファイルが、SHOW FFILE コマンドで表示されることがありましたが、これを修正しました。
- 5.7 DHCP サーバー機能において、クライアントから options field に「4」がセットされ、かつ、シーケンスが異なるパケットを受信した場合、本体がリポートしていましたが、これを修正しました。
- 5.8 DHCP サーバー機能において、IP アドレスの静的割り当てと動的割り当てを同時に使用した場合、本体がリポートしていましたが、これを修正しました。
- 5.9 DHCP リレー機能使用時に、クライアントが取得した IP アドレスを解放後、再度取得すると、本体がリポートしていましたが、これを修正しました。
- 5.10 SNMP パケットによるアタックなど、脆弱性に対して強化しました。
- 5.11 ハードウェア IP フィルターにおいて、IMPORT/EXPORT パラメーターを指定したマッチ条件を複数作成した場合、一番最初に作成したマッチ条件でしかフィルターが有効になりませんでした。これを修正しました。

- 5.12 ハードウェアIPフィルターにおいて、ADD(SET) SWITCH L3FILTER ENTRY コマンドで、TCPACKパラメーターにFALSEを指定した場合、パラメーター値を設定ファイルに保存できませんでしたが、これを修正しました。
- 5.13 IGMPスヌーピングにおいて、Queryメッセージパケットをタグ無しポートから送信した場合、タグが付与されていましたが、これを修正しました。
- 5.14 IGMPスヌーピングにおいて、Windows®98から送信されるQuery/Reportメッセージを正しく認識できませんでしたが、これを修正しました。
- 5.15 OSPFのイコールコストマルチパス環境において、本製品のL3テーブルが正しく更新されませんが、これを修正しました。
- 5.16 OSPFで仮想リンク(Virtual Link)を設定した場合、仮想リンクを経由して受信したLSDB(リンクステートデータベース)は正常であるにも関わらず、正しいネクストホップがセットされませんが、これを修正しました。
- 5.17 ダイナミックルーティングテーブルの更新処理に時間がかかり、他の処理ができなくなることを避けるため、テーブルの更新時間を高速化しました。
- 5.18 ファイアウォール(AT-FL-02)において、アクセスリストに複数のネットワークアドレスを記述した場合、2行目以降の記述内容が有効になりませんが、これを修正しました。
- 5.19 ファイアウォール(AT-FL-02)のダイナミックENATにおいて、プライベート側VLANインターフェースから送信するマルチキャストパケットをアドレス変換していましたが、これを修正しました。
- 5.20 IGMP(AT-FL-03)において、本体の起動(再起動)後125秒間、Queryメッセージが送信されませんが、これを修正しました。
- 5.21 IGMP(AT-FL-03)において、IGMPパケットをタグ付きポートから送信した場合、タグが付与されませんが、これを修正しました。

6 本バージョンでの制限事項

6.1 SNMP MIB オブジェクトについて

 「ユーザーマニュアル」2-51～2-52ページ

SNMP の MIB オブジェクトについて、以下のような制限があります。

- MIB II オブジェクト [ipNetToMediaPhysAddress] に正しい値がセットされていません。
- ブリッジ MIB オブジェクト [dot1dStpPriority] に正しい値がセットされていません。
- ブリッジ MIB オブジェクト [dot1dBaseType] に正しい値がセットされていません。
- ブリッジ MIB オブジェクト [dot3StatsFrameTooLongs] が正しくカウントアップされません。
- インターフェース拡張グループ MIB オブジェクト [ifHCInOctets] などの 64bit カウンター (Counter64) が正しく動作しません。


6.2 ソフトウェア IP フィルターについて

- SHOW IP FILTER コマンドの表示項目 Matches のカウントが正しくありません。
- ADD (SET) IP FILTER コマンドで SIZE パラメーターを指定した場合、フィルターが正しく動作しません。
- ADD (SET) IP FILTER コマンドで OPTIONS パラメーターを指定した場合、フィルターが正しく動作しません。

6.3 ハードウェア IP フィルターについて


EMPORT/EPORT パラメーターで、フィルタリングを行うイーグレス(出力)ポートを特定した場合、該当ポート以外のポートにおいて、ARP のアドレス解決が行われていない端末に対する通信ができなくなる場合があります。

6.4 不明な MAC アドレス登録について

 「ユーザーマニュアル」3-37～3-38ページ

パケットの種類に関係なく、パケットの受信中に本体を起動すると、FDB に不明な MAC アドレスが登録される場合があります。

6.5 エージングについて

 「ユーザーマニュアル」3-39ページ

1 回目のエージアウトですべてのダイナミックエントリーが FDB から削除されない場合があります。ただし、2 回目以降のエージアウトではすべてのダイナミックエントリーが削除されます。

6.6 DHCP レンジの表示について

クライアントに割り当てていた IP アドレスを解放した場合、SHOW DHCP RANGE コマンドの表示項目 Free Address (未使用の IP アドレス一覧) に、該当の IP アドレスが重複して表示される場合があります。

6.7 ADD(SET) SWITCH L3FILTER MATCH/ENTRY コマンド TYPE パラメーターについて

ADD(SET) SWITCH L3FILTER MATCH コマンドでTYPE=SNAPを指定した場合に限り、ADD(SET) SWITCH L3FILTER ENTRY コマンドのTYPE パラメーターで、間に0(ゼロ)が2つ以上続いて、かつ、連続した0が0以外の数字で挟まれたプロトコル番号(例: AppleTalk のSNAP パケット「080007809B」)を指定した場合、このフィルターが正しく動作しません。

6.8 NVS 保存のログについて

NVS 上にログが保存されません。

6.9 IP インターフェースの表示について

SHOW IP INTERFACE コマンドの表示項目 PArp(プロキシー ARP の有効・無効)が、常に「-」で表示されます。

6.10 Telnet のログインについて

改行コードに「LF+CR」ではなく「LF」だけしかセットしない Telnet クライアントからは、本製品に対してログインできません。

6.11 ディレクティドブロードキャストアドレス宛のパケットについて

異なるネットワークからディレクティドブロードキャストパケットを受信した場合、本製品が返すReplyパケットの送信元IPアドレスに、受信インターフェースのIPアドレスがセットされず、送信元にもっとも近いインターフェース(パケットを実際に送り出すインターフェース)のIPアドレスがセットされます。


6.12 DNS リレーについて

DNSリレー機能使用時、サーバーの応答パケットの送信元IPアドレス(スイッチ自体のアドレス)を変換せず、そのままクライアントに送り返すため、一部のクライアントでドメイン名の解決ができないことがあります。

6.13 DHCP サーバーについて

VLAN ごとに DHCP レンジを設定した場合、異なる VLAN に端末を移動すると、該当の端末が IP アドレスを取得できません。端末の移動前には必ず IP アドレスを解放してください。

6.14 RIP のトリガーアップデート設定について

 「ユーザーマニュアル」3-46 ページ

ADD(SET) IP RIP コマンドのDEMAND=NO(トリガーアップデートの無効)の設定が有効になりません。

6.15 ファイアウォール(AT-FL-02)のアクセスリストについて


- ADD (SET) FIREWALL POLICY LIST コマンドの TYPE パラメーターに MAC アドレスを指定した場合、アクセスリストに記載した MAC アドレスに対するルールが正しく動作しません。
- ファイアウォールルールにアクセスリストを指定した場合、該当のルール以降のルールが無効になります。

6.16 IGMP(AT-FL-03)タイマーについて

IGMP タイマーの Other Query Present Interval の値を変更することができません。


7 ユーザーマニュアルの補足事項

7.1 VLAN への IP アドレス設定数について

 「ユーザーマニュアル」 3-45 ページ


本製品の VLAN 設定数は最大 62 個 (default VLAN を除く) ですが、VLAN への IP アドレス設定数は最大 32 個となります。

7.2 スパニングツリードメイン設定数について

 「ユーザーマニュアル」 3-29 ~ 3-36 ページ

スパニングツリードメインの設定数は、最大 16 個となります。

7.3 QoS について

 「ユーザーマニュアル」 3-27 ~ 3-28 ページ

- 本製品は、ユーザープライオリティを 0 ~ 3 の 4 レベルのキューに割り当てることができます。

「ユーザーマニュアル」 3-27 ページに「システムは、優先度の高いキュー 3 から順に、すべてのパケットを転送した後、次のレベルのキューの転送を行います。」とありますが、正しくは以下のとおりとなっていますので、訂正してお詫びいたします。

各レベルのキューに割り当てられる帯域は、相対的に最も優先度の低いキューが 0% で、残りのキューが 100% を均等に共有するという割合になっています。割り当てられる帯域は、パケットが同時にキューイングされているキューの数により次のように異なります (数値は一番左が相対的に最もレベルの低いキュー、一番右が相対的に最もレベルの高いキューに割り当てられる帯域を示しています)。


同時に 2 つのレベルのキューにパケットがある場合 0 : 100 (%)

同時に 3 つのレベルのキューにパケットがある場合 0 : 50 : 50 (%)

同時に 4 つのレベルのキューにパケットがある場合 0 : 33 : 33 : 33 (%)

- タグ無しパケットは、ユーザープライオリティ「0」で処理されます。

7.4 ポートランキングについて


 「ユーザーマニュアル」 3-6 ~ 3-8 ページ

- バージョン 2.2.2 pl11 で、トランクグループに追加されたポートの通信モードが、Full Duplex 固定から SPEED パラメーターで指定した速度のオートネゴシエーションとなりました。バージョン 2.2.2 pl11 以降を搭載した機器とバージョン 2.2.2 pl04 以前を搭載した機器間ではポートランキングの接続はできませんのでご注意ください。
- バージョン 2.2.2 pl18 で、ポートランキングと VLAN 間ルーティングを併用した場合に、ルーティングされたパケットに対して負荷分散が行われるようになりました。ただし、送信ポート決定の基準になるのは「IPDEST (終点 IP アドレス)」のみで、その他のパラメーターを指定した場合も、IPDEST を指定したときと同じ動作になります。

- フラッディングされたパケットの送信ポートには、トランクグループ内でリンクが一番最初に確立したポートが使用されます。
- ポートランキングとスパンニングツリーを同一ポートに設定することはできません。

7.5 リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」について

- バージョン 2.2.2 pl04 で、リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」がサポートされたことにより、ステータス LED の表示内容が以下のようになります。

 「ユーザーマニュアル」 1-8, 4-5 ページ

LED	色	状態	表示内容	
FAULT	赤	点灯	本体、またはソフトウェアが故障しています。	
		点滅	1回点滅：	ファンに障害があります。
			3回点滅：	リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」のDC電源ケーブルが接続されていて、本体の電源ユニットに異常があります。
			4回点滅：	SET SYSTEM RPSMONITORコマンドでONが指定されていて、リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」の電源ユニットに異常があります。
			5回点滅：	SET SYSTEM RPSMONITORコマンドでONが指定されていて、リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」のDC電源ケーブルが接続されていません。
消灯	システムに異常はありません。			
RPS	緑	点灯	SET SYSTEM RPSMONITORコマンドでONが指定されていて、かつ、リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」のDC電源ケーブルが接続されています。	
		消灯	SET SYSTEM RPSMONITORコマンドでOFFが指定されているか、ONが指定されている場合はリダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」のDC電源ケーブルが接続されていません。	
PWR	緑	点灯	本体に電源が供給されています。	
		消灯	電源ケーブルが正しく接続されていないか、指定した電源電圧が使用されていません。	


- CentreCOM RPS8000 の状態表示には、LED の表示と CLI での表示があります。どちらも、SET SYSTEM RPSMONITOR コマンドによるモニターの有効化が必要です。
SET SYSTEM RPSMONITOR={ON|OFF}

ON(有効)/OFF(無効)で指定します。デフォルトはOFFです。OFFの場合、LEDやCLIでCentreCOM RPS8000の状態を表示することはできません。

SHOW SYSTEM コマンドで表示される以下の項目で、本体とCentreCOM RPS8000の電源状態を表示します。

Main PSU	本体の電源状態です。On(電源オン)/Off(電源オフ)で表示します。
RPS Monitor	CentreCOM RPS8000のモニターのステータスです。On(有効)/Off(無効)で表示します。
RPS Connected	本製品とCentreCOM RPS8000のDC電源ケーブルによる接続状態です。YES(接続)/NO(未接続)で表示します。
RPS PSU	CentreCOM RPS8000の電源状態です。On(電源オン)/Off(電源オフ)で表示します。

7.6 ADD(SET) USER コマンドについて

 「ユーザーマニュアル」 2-28 ページ

バージョン 2.2.2 pl04 で、ADD(SET) USER コマンドに LOGIN パラメーターが追加されました。


ADD USER=login-name PASSWORD=password LOGIN={TRUE|FALSE|ON|OFF|YES|NO}
[other-options...]

SET USER=login-name [LOGIN={TRUE|FALSE|ON|OFF|YES|NO}] [other-options...]

SET USER [LOGIN={TRUE|FALSE|ON|OFF|YES|NO}] [other-options...]

LOGIN パラメーターは、USER レベルのアカウント (PRIVILEGE=USER) を作成する場合に必須となります。TRUE (ON/YES) を指定した場合は、ユーザーにコマンドラインインターフェース (CLI) へのログインを許可します。FALSE (OFF/NO) を指定した場合は、ユーザーに CLI へのログインを許可しません。RS-232 経由、および Telnet 経由のログイン行為に対して有効です。


7.7 ポートセキュリティのスタティックエントリ (learn) について

 「ユーザーマニュアル」 3-12～3-15 ページ

SET SWITCH PORT コマンドの LEARN パラメーターで 0 (ゼロ) を指定した場合のスタティックエントリ (learn) の扱いが、バージョン 2.2.2 pl04 で一部変更になりました。

- **2.1.5 pl02 以前**
スタティックエントリ (learn) は、SET SWITCH PORT コマンドの LEARN パラメーターで 0 (ゼロ) を指定した場合、FDB から消去されます。
- **2.2.2 pl04 以降**
スタティックエントリ (learn) は、SET SWITCH PORT コマンドの LEARN パラメーターで 0 (ゼロ) を指定した場合、(設定内容を保存しても) 本体の再起動によって FDB から消去されます。

7.8 RIPバージョン2について

 「ユーザーマニュアル」 3-46 ページ

RIPバージョン2の可変長サブネット環境において、ADD(SET) IP RIP INTERFACE コマンドで、RECEIVE パラメーターに BOTH を指定した場合、経路情報を受信することができません。RECEIVE パラメーターには RIP2 を指定するようにしてください。

8 コマンドリファレンスについて

最新の日本語版コマンドリファレンス「CentreCOM 9600/8600 シリーズ コマンドリファレンス 2.2(J613-M0522-00 Rev.B)」は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、付属のユーザーマニュアルと上記のコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちのコマンドリファレンスが上記のものでない場合は、ホームページで最新の情報をご覧ください。

※ パーツナンバー「J613-M0522-00 Rev.B」は、コマンドリファレンスの全ページ(左下)に入っています。

コマンドリファレンス 2.2(J613-M0522-00 Rev.B)へのリンクはこちら：
<http://www.allied-tesis.co.jp/support/8624xl/manual.html>

